

- 学校は活用すべき。生徒達が学校で費やす時間は見過ごせない程長い為。但し、学校の活用だけで終わるのは本末転倒。学校は粟谷塾ではない。

その他、これについての詳細は、この教科書の「はじめに」のページに譲ります。

自分の【意志】を持つ為の【レポート】は、“自分の意志を持つための作文”の授業と【レポート】学習の授業を合わせた物で、自分の気持ちや考え、【勉強】の結果等、何を書いても良い、一種の自由作文です。何であれ自分自身を表す事の出来る題材について自分自身の言葉で書き、自分自身が納得出来る一つの言語表現作品として仕上げる授業、そして、それを私が読んでメッセージを返し、生徒が自分自身を客観的に掴む事を助ける【紙上対話】です。

この授業の狙いは、【学力】を伸ばす事は言わずもがな、生徒が生徒自身、つまり、自分自身を方向付ける存在である【意志】を把握し、その事によって、自分に都合の悪い事は無かった事にする“事勿れ主義”を退け、【信頼関係】に値する【信頼】出来る人、頼りに出来る人になるのを支える事です。

なお、1回の授業時間は原則90分ですが、生徒達は平均して毎回約3時間以上塾に居り、その間の時間の割り振りは生徒に任せています。授業時間中には、上記三つの授業からの、そして、その他主体的な【勉強】からの【逃避】でない限り、学校の補習や宿題、テスト対策、或いは市販教材等を行う事も認め、生徒の希望に応じて指導しています。

粟谷塾公式ウェブサイトより

粟谷塾の授業



2016年01月01日(金)

粟谷塾の授業は、「粟谷塾の指導理念」で述べた指導理念を実現する、1回90分の授業(全教科対応)で、次の三つを柱にしています。

- 考えさせる哲学的[対話]
- 『粟谷塾[勉強]心得』
- 自分の[意志]を持つ為の[レポート]

考えさせる哲学的[対話]は、粟谷塾での様々な場面で日常的に行なう、私と一人または複数の生徒との[対話]です。

この[対話]の中で、私は、一人一人の生徒の表情や行動、様子、言葉をよく見、よく聞いて、その心の在り様を汲み取り、物事の[意義]を考えさせ、様々な視点を提示し、様々な質問を投げ掛け、人の心の動きや事の成り行きに注意を払わせ、自分自身を省みさせます。

その為、生徒達は、[未知]の物事の[意義]を自力で分かるようになり、[未知]への[不安]を克服し、[自信]と[意欲]を持ち、[勉強]をし、伸び伸びと[学力]を発揮出来るようになります。

そうして、生徒達は、自然に、あらゆる分野・教科に通じる思考力・理解力を身に着けていく事になります。

また、他の人の心を思い遣り、仲間との絆を大切にする事も出来るようになっていきます。

また、生徒達は、自分の話を徹底的に聞いてもらう事によって、自分の言う事が大切にされ、自分が全人的に受け入れられている事を知り、自分自身を肯定的に見詰め直し、自分自身の価値を信じる事が出来るようになり、そのような仕方によっても[不安]を克服し、自分に

[自信]を持てるようになり、同様に、[意欲]→[勉強]→[学力]、と進んでいく事になります。

このような考えさせる哲学的[対話]は、粟谷塾の、つまり私の授業・指導の基盤です。

私の過去の指導経験の中で、生徒の[学力]を最も飛躍的に伸ばした指導方法は、実はこの考えさせる哲学的[対話]でした。

粟谷塾で私がしばしば引き合いに出すような、普通では考えられない位の過去の生徒の長足の進歩には、先ず間違い無くこの考えさせる哲学的[対話]が関わっています。

生徒達自身も言っている事ですが、このような[対話]は他では聞かない対話で、粟谷塾の生徒達ならではの貴重な経験だ、と思います。

そして、この考えさせる哲学的[対話]は、この指導理念の流れの中での時点においても極めて有効です。

『粟谷塾[勉強]心得』は、最近の子供達に共通した基礎学力の欠落を補いつつ、生徒達の知的好奇心に答え、高次元の主体的な[勉強]にまで導く、粟谷塾独自の学年不問の教科書です。

その内容は、常に改良・進化・増補していくので、終わりが無く、完結する事が有りません。

この『粟谷塾[勉強]心得』は、次の二つの原則に基づいて作られています。

- 生徒達にとって易しい内容から始めるべき。生徒達に[自信]を持たせる為。そして同時に、高い次元に導ける物であるべき。